

第一学年 6期生 患者様の日常生活を整える援助実習が 終了しました。

約一週間患者さまに日常生活の援助を行い、看護とは何かを改めて考えました。

看護とは 患者さんに寄り添うこと。決めつけたりせず様々な視点から患者さんを見ること。(A・T)

患者さん一人ひとりにあわせた看護が大切。知識+工夫。症状にあわせた援助が必要である。(S・N)

患者さまの理解者になること。日々の変化に柔軟に対応し、考え、行動していくこと。(M・K)



患者さまの小さな変化や、指導者さんたちと行動して気づいたこと等を、毎日ラベルに書き留め、最後にまとめました。

入学当初に
比べると
色々なことに気づけている
自分を発見!!



たくさんの学びを与えて下さり、
新たな課題に気づかせていただいた患者さまに心から感謝いたします。



頑張ります

